

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 25 年 12 月 5 日 (2013.12.5)

【公開番号】特開 2011-105863 (P2011-105863A)  
 【公開日】平成 23 年 6 月 2 日 (2011.6.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-022  
 【出願番号】特願 2009-262958 (P2009-262958)  
 【国際特許分類】

C 0 8 J 9/04 (2006.01)

C 0 8 L 23/10 (2006.01)

B 3 2 B 5/18 (2006.01)

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 9/04 1 0 1

C 0 8 J 9/04 C E S

C 0 8 L 23/10

B 3 2 B 5/18

B 3 2 B 27/32 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 25 年 10 月 22 日 (2013.10.22)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ポリプロピレン系樹脂成分を主成分とするポリプロピレン系樹脂組成物が押出し機で押出し発泡されて形成された樹脂発泡シートであって、

前記ポリプロピレン系樹脂組成物には、含有されるポリマー成分に占める割合が 20 質量%以上 50 質量%未満となるように高溶融張力ポリプロピレン樹脂が含有されていることを特徴とする樹脂発泡シート。

【請求項 2】

前記高溶融張力ポリプロピレン樹脂が、化学架橋によって形成された自由末端長鎖分岐を有している請求項 1 記載の樹脂発泡シート。

【請求項 3】

表面に非発泡樹脂層を備え、前記ポリプロピレン系樹脂組成物の押出し発泡によって形成された発泡樹脂層と前記非発泡樹脂層とが積層された積層構造を有しており、非イオン性帯電防止剤を含有するポリプロピレン系樹脂組成物によって前記非発泡樹脂層が形成されている請求項 1 又は 2 記載の樹脂発泡シート。

【請求項 4】

加熱された状態で成形加工が施され、しかも、前記非発泡樹脂層を成型型に接触させて前記成形加工が施される用途に用いられる請求項 3 記載の樹脂発泡シート。